

授業概要

第16回 韓国協働学習実践研究会 (2012.9.28.金)

講義名	時事日本語
受講生の概要	複数・副専攻の韓国人学習者：中級以上の日本語レベル（9人） 交換留学生の日本語母語話者：初中級程度の韓国語レベル（8人）
講義内容 ・手順	<ul style="list-style-type: none">・期間：週2回（75分×2コマ）の15週間・目標：情報を聴き取るための聴解力、固い文章の読解力などの受容能力を伸ばす。 ：意見や感想を言う、聞く、説明する、調整するなどのやりとりができるようにする。● <u>ニュースを聴く</u><ul style="list-style-type: none">① 前もって各自ニュースを聴き、スクリプトを作成してくる ：『ニュースの日本語』からの抜粋② 授業中の聴解・講読・シャドイング ：スクリプトの自己修正③ ピア活動（2ページ参照） ：スクリプトの他者修正、「記事についての感想・意見」の話し合い④ スクリプト提出→教師修正・コメント→返す● <u>専門的なテキストを読む</u>
その他	<ul style="list-style-type: none">◆ 日本語学習者と母語話者、両方にとって互恵的なピア活動？◆ 授業全体の振り返り？？

ピア活動（韓日2～3人のグループ）

- 表記（漢字・仮名／ハングル）
: 聞き間違い・聞き漏らし？ 書き間違い？
 - 表現（韓国語訳）
 - 発音・イントネーション（日本語／韓国語）
 - その他：意味・表現
- ✓ 内容（記事についての感想・意見）

コメント
・
修正

教え合い

話し合い

自己発信、他者受信（相互行為）
→ 共感、反駁（内省）
→ 思考の拡大、深化（変容・創発）

第16回 研究会 議事録

日時：2012年 9月29日 午後6時半～

場所：弘益大学

進行係：倉持香 金志宣

研究会の進行

1. 今学期の授業を紹介しあう。
2. 問題と感じている点(意見交換)
3. 授業アイデアの提案(意見交換)
4. 10月11月12月の発表者を決める

倉持クラス(弘益大学, 教養日本語)

初級日本語(1)クラス・・・2クラス A:11名(女性7名男性4名) B:11名(女性6名男性5名)

Aクラスは明るい学生が多い。笑顔が多く自発的に会話をし、クラスの雰囲気が初めから良かった。

(4年3名 3年2名 2年2名 1年4名) 席が近い学生同士でグループを作る。(3グループ)4-5名が0初級
どのグループも積極的に声を出し合って練習したり、進んで活動に参加できている。

Bクラスは静かな学生が多い。消極的で自発性があまり見られない。恥ずかしさや多学生に関心がないせいか
グループ活動がうまく進まない。3週目から教師が作ったグループにかえてみて、以前よりよくなった。

AクラスとBクラスを比較して、Bクラスに見られない姿勢

- ・ゼロ初級の学生が他の学生に迷惑にならないよう努力する。
- ・日本語を習ったことがある学生は自ら教える姿勢であったり、グループワークを引っ張る姿勢でグループ活動に参加する。
- ・休み時間、おしゃべりをして会話や笑いが絶えない。
- ・グループ活動を楽しそうに積極的に行う。
- ・遅刻、欠席が少ない。
- ・グループメンバーが親しい。

教師の気づき

クラスの雰囲気、学生の個性、性格、積極性、社会性、学習レベルなどを考慮して、クラスに合った協働学習をデザインする必要がある。

教師の気持ち先走りして、協働学習を強制する必要はないのかもしれない。

<<グループでの話し合い>>

「クラスの雰囲気をよくするためにどのように工夫をしているのか。」